

I 学校経営計画書

[校是] 夢を仰ぎて 己を信ず

1 スクール・ミッション

多様な学びを実現する都市型総合学科として、主体性と個性を尊重しつつ他者と協働して学ぶ教育を通して、社会や地域に積極的に参画し貢献する人材の育成を目指す。

2 目指す学校像

(1) スクール・ポリシー

グラデュエーション・ポリシー	カリキュラム・ポリシー	アドミSSION・ポリシー
1 多様な学びを通して、自ら問いを立て探究できる。	1 多様な学習活動から学問の基本を身に付け、生涯にわたる持続的な学びを推進する。	1 興味関心力が高く、情報を取捨選択できる生徒。
2 自己と他者を尊重し、主体的・協働的にやり抜く力を身に付ける。	2 自らの興味関心や適性、目指す進路に応じた科目を主体的に選択し、教科横断的な深い学びを実現する。	2 自己と他者の在り方を認め、主体的に行動ができる生徒。
3 論理的に考えながら社会に参画し、貢献する。	3 社会に関心を持ち、地域貢献を意識した体験と実践を伴う学びを探究的に行う。	3 持続可能な社会に向け、未来を考えることができる生徒。

(2) スクール・ポリシー具現化の柱

ア 多様な学習ニーズに対応した学力向上と主体的に学ぶ意欲態度の育成

イ 品位ある生活態度の育成と個人の意思を表明できる環境づくり

ウ 計画的なキャリア支援による個に応じた適切な進路の実現

エ 保健・安全指導の徹底と体力づくりの強化による心身の調和のとれた育成

オ 人権尊重、共生・共育による自己肯定感を高める活動及び環境整備

カ 地域連携を推進し、SDGsを意識した他者との協働による社会への寄与・参加

キ 生徒の学びを支える事務運営の効率化、円滑化と教育環境の充実

ク 部活動の見直しと業務の効率化による職員のワークライフバランスの実現

3 本年度の取組（重点目標はゴシック体で記載）

	取組目標	達成方法（取組手段）	成果目標	担当部署
ア	多様な学習ニーズに対応した学力向上と主体的に学ぶ意欲態度の育成	(1) 多様な学習ニーズに対応し授業の内容と進度を工夫する。	(1) 生徒アンケートの「本校の授業は、内容、進度等が適切で、学力を向上させるのに役立っている」での肯定的な回答が 90%以上。	教務図書課
		(2) 学習指導要領を踏まえ、学習の成立を促すための評価と指導の一体化について研究を促進する。	(2) 教員アンケートの「主体的に学ぶ意欲や思考力・判断力・表現力などの育成に努めている」での肯定的な回答 95%以上。	
		(3) 外国人生徒に対する支援を継続させる。	(3) 外国人生徒への支援に関わる教職員・支援員を増やす。	
		(4) 学びの拠点としての図書館を活性化させる。	(4) 「図書館を授業や探究活動、自習などで利用した」と答える生徒 80%以上	
		(5) 単元テストの充実を図り、学習習慣の構築を支援する。	(5) 「子どもは家庭での学習習慣が身についている」と答える保護者 60%以上	
		(6) 進路課と学年が連携して生徒の基礎学力を養成し、自学自習、能動的学習を支援する。	(6) 「子どもは家庭での学習習慣が身についている」と答える保護者 60%以上。	進路課
		(7) 社会に対する関心を深める学びを提供する。	(7) 「私の子どもは、家庭での学習習慣がついている」と答える保護者 60%以上。	
		(8) 教科横断的な取り組みや発達支持的な生徒指導の取り組みを通し、生徒の学習意欲を支援する。	(8) 教科横断の授業を年間 10 回以上展開する。その授業内容を校内研修で共有して、生徒の学ぶ意欲が充実する授業を充実させる。	研修課
		(9) 進路課と学年が連携して生徒の基礎学力を養成し、自学自習、能動的学習を支援する。	(9) 「子どもは家庭での学習習慣が身についている」と答える保護者 60%以上。	進路課 全学年部
		(10) 教務図書課と学年が連携して生徒の基礎学力を養成し、自学自習、能動的学習を支援する。	(10) 「興味・関心をもって積極的に取り組める授業がある」に肯定的な生徒 90%以上。	教務図書課 3 年部
		(11) 新聞・図書等を利用した教材を用い、社会に対する関心を深める学びを提供する。	(11) 「私の子どもは、家庭での学習習慣がついている」と答える保護者 60%以上。	

イ	品位ある生活態度の育成と個人の意思を表明できる環境づくり	(1) いじめの防止等のための基本的な方針に沿った対応をする。 (2) 校則を厳守し、高校生らしいさわやかな髪型、正しい制服着こなしを身につけるために、頭髪・服装指導を学期に1回程度行う。 (3) SNSやツイッターなどの問題点を生徒が理解するために、スマホ・ケータイについての講習を行う。	(1) いじめに関するアンケートを学期に1回（年3回）実施する。 (2) 「髪型や服装等を高校生らしく整えている」と答える生徒100%。 (3) 「情報モラルを理解したうえで、適切にケータイ、スマホ、ネット等を利用している」と答える生徒100%。	生徒指導課
ウ	計画的なキャリア支援による個に応じた適切な進路の実現	(1) 「主体的・対話的で深い学び」、「探究的な学び」を実現させる科目選択指導を1・2年で計画的に行う。（1年） (2) 「総合的な探究の時間」「産業社会と人間」などを有効に活用し、将来を意識した教科選択ができるよう細やかな支援を行う。（1年） (3) 部活動や委員会活動、学校行事、探究的な学習に積極的に取り組み、進路実現に有効な実績作りをサポートする。（2年） (4) 部活動や学校行事、外部団体への参加などに積極的に取り組み、探究活動を通して自己実現につながる支援をする。（1・3年） (5) 進路実現に向けて小論文・面接・受験科目等の個に応じた具体的サポートをする	(1) 「本校は、適切な科目選択のために、十分な指導を行っている。」と答える生徒、保護者90%以上（1・2年生）。 (2) 「私は、自分の考えに基づいた科目選択ができている」と答える生徒、保護者が90%以上（1年）。 (3) 「本校は、生徒一人一人に対応したきめ細かな進路指導を行っている」と答える生徒、保護者90%以上（2年）。 (4) 「本校は、生徒一人一人に対応したきめ細かな進路指導を行っている」と答える生徒、保護者90%以上。 (5) 「本校は、生徒一人一人に対応したきめ細かな進路指導を行っている」と答える生徒、保護者90%以上。	学校魅力推進課 各学年部
		(6) 生徒の多様な適性や希望に応じるため、きめ細やかな進路指導を実施する。特に2026年度大学入試に向けた情報収集・研究を行う。 (7) 個別面談等を通して、生徒、家庭との情報交換を密にして生徒理解に努め、柔軟できめ細やかな指導を行う。	(6) 「本校は、各種進路行事や面談等を通じて進路に関する情報を十分提供している。」と答える生徒、保護者80%以上。 (7) 「本校は、生徒一人ひとりに対応した（進路実現にむけた）きめ細やかな進路指導を行っている」と答える生徒、保護者70%以上。	進路課

エ	保健・安全指導の徹底と 体力づくりの強化による 心身の調和のとれた育成	(1) 交通安全指導 ・交通安全教室の実施 ・交通安全街頭指導を実施し、 交通ルールとマナー遵守の呼 びかけを行う。	(1) ・交通事故数年間 10 件 以下 ・イエローチケット指導 数年間 200 件以下 ・「交通ルールとマナー を遵守できた。」と答える 生徒 80%	生徒指導課
		(2) SC、SSW、特別支援コー ディネーター、管理職、保健室、 学年の密接かつ適切な連携 (3) 心の健康アンケートの有効 活用	(2) 各学年における情報 交換会月 1 回実施 (3) 心の健康アンケート の年 2 回実施と「有意義 な学校生活を送れている」 と答える生徒 95% 以上	教育相談室
		(4) 朝食摂取率の向上を目指し、 保健だより、C ラーニングによ る生徒・保護者への周知徹底、 保健委員会によるアンケート 実施・分析を行い、個別指導の 実施、改善方法を検討する。 (5) 健康講座・薬学講座の充実と 保健委員による広報活動を実 施する。 (6) 通常清掃や大掃除を徹底し て行い、美化活動を活発化す る。	(4) 朝食摂取率が 90% 以 上 (5) 保健だよりへの掲載 等、学校保健委員会等の 発表による活動を年に 2 回程度実施する。 (6) 「清掃活動を責任も ってやった」と答える生 徒が 70% 以上	保健課
オ	人権尊重、共生・共育に よる自己肯定感を高める 活動及び環境整備	(1) 南の丘分校との授業交流に より、豊かな人間性を育むため の教員の意欲を支援する。	(1) 南の丘分校と交流し た授業を年間 5 回以上 展開する。その授業内容 を校内研修で共有する。	研修課
		(2) 「総合的な探究の時間」や外 部活動を通して心理的安全性 を生徒自ら意識し、自他共に認 め合えるような指導・支援を行 う。(SPS 駿総ベースの活用)	(2) 「自分や他者の価値 観や感情受け入れ、尊重 するよう心掛けている」 と答える生徒が 90% 以 上	学校魅力 推進課
		(3) 心理的安全性の高い人間関 係づくりのために必要な行動 や配慮について、教員・生徒に 研修を実施する。 (4) 授業、学校行事、部活動等学 校教育におけるすべての活動 で実践する。	(3) 静岡県人権教育の手 引き「教職員の人権感覚 チェックシート」の利用 100% (4) 人権教育振り返りア ンケートで、心理的安全 性に関連する項目の肯 定の回答が 80% 以上。	生徒指導課

カ	地域連携を推進し、SDGsを意識した他者との協働による地域社会発展への寄与・参加	(1)SDGs を軸に、都市型総合学科高校としての教育活動の整理と体系化（授業実践、進路指導等を含む。）	(1) 研究発表や交流活動等に積極的に参加する生徒 30 人以上、先進的実践の情報収集に臨む職員（延べ）6 人以上	学校魅力推進課
		(2) 学校 HP・Instagram を通じて広報活動を計画的に行うとともにマスコミへの情報提供を積極的に行う。	(2) 記事掲載回数 20 件以上、Instagram 記事更新 150 回以上	総務課
		(3) PTA 活動の活性化を図る。	(3) PTA・後援会総会等参加率 60% 以上	
		(4) 学校 HP をわかりやすく見たい HP を目指す (5) 学校 HP を行事等の際に随時更新し、学年、分掌、科目群、部活動等の積極的な情報発信をする。	(4) (5) 「本校は、ホームページや SNS、公開授業等を通じて、学校の情報を保護者や地域に積極的に公開している。」と答える保護者 90% 以上	情報管理課 管理職
キ	生徒の学びを支える事務運営の効率化、円滑化と教育環境の充実	(1) ICT 環境を整備し、校務サポートシステム、自動採点システム、校内ネットワークを一元化した校務の効率化を図る。	(1) 校務サポートシステム自動採点システム、校内ネットワークの活用により業務が効率化したと答える教職員 70% 以上	教務図書課
		(2) 効率的で適正かつ正確な事務処理を実施し、校内外の環境整備を充実させる	(2) 監査での指摘 0 件及び要求調書を活用した予算執行の実現	事務室
ク	部活動の見直しと業務の効率化による職員のワークライフバランスの実現	(1) 教職員の健康保持のため、業務の精選や平準化、時間外勤務の削減を進めるため方策を検討・実施する。 (2) 職員完全退庁時間 20 時の徹底 (3) 県事業や地域・大学生・社会人などの外部人材の積極的活用	(1) 業務の精選や平準化、時間外勤務の方策が進んでいると答える教職員 70% 以上 (2) (3) 働きがいを感じる教職員が 70% 以上	管理職